



Urban Green

公益財団法人 都市緑化機構

〒101-0051 千代田区神田神保町3-2-4 田村ビル2階

電話：03-5216-7191 FAX：03-5216-7195

E-mail: midori.info@urbangreen.or.jp

令和7年2月20日

「第13回 みどりの社会貢献賞」受賞決定 — 緑による社会と環境への貢献企業 —

公益財団法人 都市緑化機構(会長 市川 晃)は、全国都市緑化フェアにおける普及啓発催事の一環として、企業の緑地について良好な管理等により社会・環境への顕著な功績のあった企業活動を「みどりの社会貢献賞」として表彰することにより、企業の主体的な都市緑化の取り組みを通じた、緑豊かな潤いのある都市づくりを推進しており、この度「第13回みどりの社会貢献賞」の受賞企業を決定いたしました。

表彰式は、本年、岐阜県で開催される「第42回全国都市緑化ぎふフェア」(期間:令和7年4月23日(水)～6月15日(日))の中心行事である全国都市緑化祭の記念式典の中で執り行います。

■ 募集から表彰までの流れ

募 集	審査委員会	表 彰
令和6年5月13日～ 令和6年8月30日	令和6年12月20日	全国都市緑化祭記念式典時

■ 受賞団体 (50音順)

【みどりの社会貢献賞】

株式会社銀の森コーポレーション	銀の森キャンパス	岐阜県中津川市
株式会社関ヶ原製作所	せきがはら人間村	岐阜県関ヶ原町
鍋屋バイテック株式会社	関工園	岐阜県関市

■ 選考方法

下記の委員により構成する 第13回みどりの社会貢献賞選考委員会 での審議を経て選定。

委員長 仙田 満	東京工業大学 名誉教授
井上 洋	明治大学国際日本学部 兼任講師
北栄 階一	株式会社日本政策投資銀行 課長
森本 幸裕	京都大学名誉教授、公益財団法人京都市緑化協会 理事長
柳井 重人	千葉大学大学院園芸学研究院 教授
山崎 誠子	日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科 准教授
望月 一彦	国土交通省都市局 公園緑地・景観課 緑地環境室長
棚橋 幸治	岐阜県都市建築部都市公園・交通局都市公園課 都市緑化フェア推進室長
棚野 良明	公益財団法人都市緑化機構 専務理事

(敬称略)

お問合せ先

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-4 田村ビル

公益財団法人都市緑化機構内 「みどりの社会貢献賞」係 菊池・小田

TEL: 03-5216-7191 FAX: 03-5216-7195 e-mail: midori.info@urbangreen.or.jp



Urban Green

公益財団法人 都市緑化機構

〒101-0051千代田区神田神保町3-2-4田村ビル2階

電話：03-5216-7191 FAX：03-5216-7195

E-mail: midori.info@urbangreen.or.jp

第13回 みどりの社会貢献賞 受賞企業

「みどりの社会貢献賞」は、緑地の良好な管理運営や都市緑化の推進、緑地の保全に関する各種活動を通じ、緑地の市民開放等による地域社会への貢献や、生物多様性保全等の環境改善等に顕著な功績が認められ、全国の範となる企業の取組みを表彰するものです。

『地域社会への貢献』、『環境改善への貢献』、『先導性・広域性』の観点から総合的に審査し、次の3件の取組みが受賞しました。

■ 株式会社銀の森コーポレーション 銀の森キャンパス

「再生・循環・新しい豊かさ。100年の森づくり計画」（岐阜県中津川市）

恵那峡県立自然公園内にある旧ゴルフ場の一部の土地を取得し、「ゴルフ場の跡地を森にする」をコンセプトに、自然の力を借りて森をつくっていくパーマカルチャーデザインの技法を取り入れた活動を展開。地元の幼稚園・保育園児や高校の生徒達の参加も募り、地域環境の保全意識の向上と持続可能な社会づくりも視野に入れながら、人と自然が共生できる森づくりの取組みが高く評価されました。



■ 株式会社関ヶ原製作所 せきがはら人間村

「地域社会との交流を育む『工場キャンパス』」（岐阜県関ヶ原町）

伊吹山地をはじめ四方を豊かな自然に囲まれ古戦場の歴史資産を有する当地域で、里山の景色と調和した緑地を目指し、隣接地との境を極力無くし周辺住民や観光客が自由に利用できるような地域開放型の緑地を整備。敷地内には美術館やカフェ等も設け、芸術や歴史文化を融合させることで地域の魅力づくりや活性化に多大なる貢献が認められ、加えてこれら全てが社員自らによる主体的な取組みとなっていることが高く評価されました。



■ 鍋屋バイテック株式会社 関工園（共同事業者：株式会社エスエフジー・ランドスケープアーキテクト）

「森と文化を継承し育て続ける工場公園」（岐阜県関市）

岐阜大学の統合先として関市が確保・造成した用地において、公園工場を整備。「良い商品は、良い環境から生まれる」という理念のもと、樹林地、ビオトープ、芝地等、林床植生の回復による生物多様性の充実と現代美術館の設置と運営による地域の魅力向上、自治体、企業からの見学を積極的に受け入れている。高度にデザインされた緑環境、建築環境との調和と“工園”というコンセプトの着実な実践が高く評価されました。





Urban Green

公益財団法人 都市緑化機構

〒101-0051千代田区神田神保町3-2-4田村ビル2階

電話：03-5216-7191 FAX：03-5216-7195

E-mail: midori.info@urbangreen.or.jp

今回の審査会において、以下の取組について、「みどりの社会貢献賞」に準じる取り組みとして、「特別賞」と、今後の取組により、更なる深化・発展が期待できる取り組みとして、「奨励賞」を授与することとしました。

【特別賞】

イビデン株式会社 イビデンの森及び東横山発電所

「祖業の水力発電事業ゆかりの地で森林づくり」（岐阜県揖斐川町）

道の駅・星のふる里ふじはしに隣接する水力発電所。グループのルーツである水力発電事業のゆかりの地、東横山地区を中心とした揖斐川上流域の山林にて、社員やその家族とともに、森林の再生・育成、人々が憩う場所づくりを通じ、社員の環境活動への意識を育てています。発電所周辺の森林、歴史遺産を含む景観の保全・管理、地元森林組合や住民等と連携した植樹活動、自然観察会や郷土文化を活用した地域交流等が評価されました。



【奨励賞】

キヤノンオプトロン株式会社 本社工場「We make Nature Positive」

「自然との調和を目指し未来をつむぐ」（茨城県結城市）

茨城県の西部で、概ね平坦な関東ローム層地質に覆われ、比較的安定した地盤に立地する工場。2001年に結城市に本社工場を移転・集約し、2022年より、野鳥をはじめとするさまざまな生物の生息空間となるビオトープ「オプトロンの森」を自社制作。ビオトープを地域の保育園に公開したり、環境配慮型生物除草としてヤギを導入する等、可能な限り自社で考え、できるところからやっていく姿勢が評価されました。

